

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 オートウェーブ

上場取引所 東

コード番号 2666 URL <http://www.auto-wave.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣岡 大介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役法務・IR室長 (氏名) 廣岡 耕平

TEL 043-250-2669

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,561	△10.1	77	△63.2	146	△42.5	107	△73.8
25年3月期第3四半期	8,414	△3.5	211	124.3	255	106.8	409	399.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 107百万円 (△73.8%) 25年3月期第3四半期 409百万円 (399.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	7.43	—
25年3月期第3四半期	28.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	10,140	2,502	2,502	2,395	24.7	173.17
25年3月期	9,814	2,395	2,395	2,395	24.4	165.74

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,502百万円 25年3月期 2,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,017	△10.3	144	△45.2	206	△36.7	198	△63.5	13.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	14,451,000 株	25年3月期	14,451,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	210 株	25年3月期	210 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	14,450,790 株	25年3月期3Q	14,450,790 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 表示方法の変更	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中における将来に関する事項につきましては、当四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）におけるわが国経済は、金融政策及び経済対策の効果・期待から円安・株高が進み、一部の企業では収益の改善が見られるものの、雇用状況の改善や個人消費伸長の手応えは感じられず、4月からの消費税率アップもあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当カー用品業界におきましては、前年のエコカー補助金などの政策効果による需要増の反動もあり、全般的に厳しい状況で推移いたしました。

そのような中、当社グループでは、新たに将来を見据えた「中期経営計画2013」を策定し、平成24年度経営計画をさらに発展させ、収益性と経営効率の向上を目指して競争力を強化し、お客様への親切の徹底により、リピーターの確保と新たなお客様の獲得による経営基盤の確立に取り組んで参りました。

また当社グループは、店舗運営戦略の一環として新しい客層の来店促進並びに収益基盤の更なる拡大のため、株式会社神戸物産とのフランチャイズ契約を締結し、11月に宮野木店内に「業務スーパー宮野木店」をオープンいたしました。

商品別の売上高につきましては、板金・塗装や洗車事業、車販売・買取につきましては前期実績を上回り堅調に推移し、また、寒波の影響等もありスタッドレスタイヤやチェーンなどの冬季関連商品も前期実績を上回りました。しかしながら、その他の商品につきましては前期実績を達成できませんでした。一方、売上総利益率につきましては、商品構成の変化、工賃売上の増加により33.2%と、前期比1.8ポイント上昇いたしました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は7,561百万円（前期比10.1%減）、営業利益は77百万円（前期比63.2%減）、経常利益は146百万円（前期比42.5%減）、四半期純利益は107百万円（前期比73.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は10,140百万円と、前連結会計年度末比326百万円(3.3%)の増加となりました。負債は7,638百万円となり前連結会計年度末比218百万円(3.0%)の増加、純資産は2,502百万円で、前連結会計年度末比107百万円(4.5%)の増加となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.3ポイント増の24.7%となりました。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して129百万円(24.7%)増加し、655百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は60百万円となりました。資金の主な増加項目は、仕入債務の増加額442百万円、減価償却費151百万円であり、資金の主な減少項目は、たな卸資産の増加額470百万円、利息の支払額108百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は131百万円となりました。資金の主な増加項目は、敷金及び保証金の回収による収入289百万円、長期貸付金の回収による収入15百万円であり、資金の主な減少項目は、有形固定資産の取得による支出90百万円、預り保証金の返還による支出51百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は62百万円となりました。これは、長期借入金の返済等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月8日の「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当社連結子会社である株式会社シー・マークは、平成25年12月31日開催の臨時株主総会において、同日付で解散することを決議し、現在清算手続き中であります。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）表示方法の変更

前第3四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「未払費用の増減額（△は減少）」は、当第3四半期連結累計期間では内容をより明瞭に表示するため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書の組み替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた13,879千円は、「未払費用の増減額（△は減少）」20,686千円、「その他」△6,807千円として組み替えております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	525,710	655,669
受取手形及び売掛金	350,435	444,088
商品及び製品	711,776	1,177,452
その他	540,455	314,211
貸倒引当金	△11,899	△10,385
流動資産合計	2,116,478	2,581,036
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,697,342	4,699,547
減価償却累計額	△1,860,695	△1,935,248
建物(純額)	2,836,646	2,764,299
土地	2,512,186	2,512,186
その他	1,176,207	1,227,521
減価償却累計額	△966,777	△982,650
その他(純額)	209,430	244,870
有形固定資産合計	5,558,263	5,521,355
無形固定資産	40,937	32,778
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,959,439	1,874,373
その他	168,136	160,076
貸倒引当金	△28,695	△28,703
投資その他の資産合計	2,098,880	2,005,746
固定資産合計	7,698,081	7,559,880
繰延資産	139	82
資産合計	9,814,699	10,140,999
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	450,103	892,689
1年内返済予定の長期借入金	52,040	—
未払法人税等	45,976	1,108
賞与引当金	5,920	2,750
ポイント引当金	13,308	10,524
事業整理損失引当金	—	28,534
建物等除却損失引当金	31,688	—
その他	480,262	419,926
流動負債合計	1,079,298	1,355,534
固定負債		
長期借入金	4,731,051	4,723,121
長期預り敷金保証金	1,058,312	1,001,768
資産除去債務	382,006	386,806
その他	168,902	171,285
固定負債合計	6,340,273	6,282,982
負債合計	7,419,571	7,638,516

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,451,175	1,451,175
資本剰余金	1,611,819	1,611,819
利益剰余金	△667,711	△560,355
自己株式	△155	△155
株主資本合計	2,395,127	2,502,482
純資産合計	2,395,127	2,502,482
負債純資産合計	9,814,699	10,140,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	8,414,540	7,561,292
売上原価	5,775,281	5,052,641
売上総利益	2,639,259	2,508,651
販売費及び一般管理費	2,428,117	2,430,926
営業利益	211,141	77,725
営業外収益		
受取手数料	84,868	88,893
その他	59,655	63,376
営業外収益合計	144,523	152,269
営業外費用		
支払利息	87,343	82,906
その他	13,162	310
営業外費用合計	100,505	83,216
経常利益	255,159	146,778
特別利益		
資産除去債務戻入額	22,297	—
訴訟損失引当金戻入額	2,317	—
転貸損失引当金戻入額	40,800	—
特別利益合計	65,415	—
特別損失		
固定資産除却損	611	9,451
事業整理損失引当金繰入額	—	26,977
減損損失	823	1,197
特別損失合計	1,434	37,625
税金等調整前四半期純利益	319,139	109,152
法人税、住民税及び事業税	22,323	14,675
過年度法人税等戻入額	△3,454	—
法人税等調整額	△109,540	△12,878
法人税等合計	△90,670	1,797
少数株主損益調整前四半期純利益	409,810	107,355
四半期純利益	409,810	107,355

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	409,810	107,355
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	409,810	107,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	409,810	107,355
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	319,139	109,152
減価償却費	153,393	151,169
減損損失	823	1,197
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,030	△3,170
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,998	△1,505
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△3,955	△2,784
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	△3,000	—
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	28,534
建物等除却損失引当金の増減額(△は減少)	—	△31,688
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△56,100	—
リース資産減損勘定取崩額	△10,821	△2,317
受取利息及び受取配当金	△2,471	△2,735
支払利息	87,343	82,906
固定資産除売却損益(△は益)	611	21,120
資産除去債務戻入額	△22,297	—
売上債権の増減額(△は増加)	△33,125	△98,821
たな卸資産の増減額(△は増加)	△309,919	△470,633
仕入債務の増減額(△は減少)	342,744	442,586
未払費用の増減額(△は減少)	20,686	△14,677
未払消費税等の増減額(△は減少)	△19,673	△22,451
営業保証金の増減額(△は増加)	△42,351	56,235
その他	△6,807	△30,808
小計	408,192	211,310
利息及び配当金の受取額	2,585	2,849
利息の支払額	△113,679	△108,486
法人税等の支払額	△17,400	△45,378
営業活動によるキャッシュ・フロー	279,697	60,294
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,377	△90,020
無形固定資産の取得による支出	△3,705	△1,862
固定資産の除却による支出	—	△8,264
敷金及び保証金の差入による支出	△1,640	△11,685
敷金及び保証金の回収による収入	43,859	289,137
預り保証金の返還による支出	△50,497	△51,374
長期貸付金の回収による収入	15,876	15,876
その他	△3,793	△10,106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,277	131,699
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△51,530	△59,970
リース債務の返済による支出	—	△2,064
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,530	△62,034
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	221,889	129,958
現金及び現金同等物の期首残高	560,068	525,710
現金及び現金同等物の四半期末残高	781,958	655,669

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

従来、当社グループは報告セグメントを「自動車用品販売事業」としておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「自動車用品販売等事業」に名称を変更しております。この変更は、既存の店舗施設の有効活用の重要性が増してきたことに伴い、これらを自動車用品販売部門の拠点としてのみならず、その他のテナントへの賃貸も含めた複合施設として位置づけ活用するという事業方針の変更に基づき、不動産部門を含めた店舗ごとの収益性をより詳細にマネジメントし、その実態をより適切に表示するために行ったものであります。

なお、当社グループは店舗ごとを基礎とした「自動車用品販売等事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

当社グループは店舗ごとを基礎とした「自動車用品販売等事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。